

〈事前課題記載例〉 サービス管理責任者実践研修 事前課題「事例検討会報告様式」

整理番号	実践○	氏名	兵庫 太郎		
事例対象者	Aさん	性別 (男)	年齢 (23)	障害種別 (知的)	
家族構成	利用者を取り巻く環境 (社会資源)				
本人 (生活 : GH、就 B を利用) 父親 (独居) 弟 (社会人・単身生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に商店街や公園がある。 ・公共交通機関が充実している。 				
本人の暮らしに対するイメージ ※本人の言葉や行動					
最近、異動により前担当者や他の職員が入れ替わり、話しやすい人が減ってしまって誰に相談したらいいのかわからない。以前は将来就職してちゃんとお給料をもらって一人暮らしがしたいと思っていたけど、最近トイレから出るのも怖くなってこのままじゃ無理かなと思う。					
提出理由 (課題と感じているところ)					
私は、Aさんが以前に比べて就Bの作業に入られず、ほぼ1日トイレに籠られていることについて、事業所の中にご自身の居場所がなくなっているのではないかと考えますが、自分でもどうすれば良いのかわからず困っておられるのではないかと考えますが、担当として何をどう支援していくべきか悩んでいる。					
経過と現状 (概要)					
特別支援学校を卒業後、製造工場に就職していたが1年半で退職し事業所の利用開始。当初は手先の器用さを活かして菓子箱や電気部品の組み立て作業ができていたが、最近は活動になかなか参加することができずほぼ1日中トイレに籠る状況が続いている。職員の業務も多忙で普段から落ち着いているAさんのことはどうしても後回しになってしまい、必要な時に関わるくらいしか接点を持っていない。人と話すことが苦手なため自身から訴えはほとんど聞かれないが、職員の声掛けには返事をされ理解している様子。					
ストレングス (強み)					
性格・個人的特性			才能・素質		
対人関係は温和で穏やかな性格 職員や他利用者に思いやる気持ちがある 支援にも協力的である			手先が器用で行程を覚えると丁寧な仕事ができる 視覚理解 (写真付き説明) が可能 就職経験がある		
環境のストレングス			興味・関心、向上心		
住まいの場 (GH) との連携が機能している GH内の対人関係も良好 近所には商店街・公園があり交通の便もよい			趣味は昆虫観察と野球観戦 (阪神戦) お菓子やケーキなどが大好物 一般就労に向けて働く力をつけたい いつかは一人暮らしがしてみたい		